

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 元年 6 月 27 日

和歌山県知事 殿

提出者 株式会社浅川組  
 住 所 〒640-8551  
 和歌山市小松原通三丁目69番地  
 氏 名 取締役社長 栗生泰廣  
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)  
 電話番号 073-423-7161

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、平成 30 年度の産業廃棄物  
 処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社浅川組			
事業場の所在地	和歌山市小松原通三丁目36番地			
事業の種類	6 総合建設業			
産業廃棄物処理計画における計画期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日			
産業廃棄物処理計画における目標値	(下表は昨年度提出した処理計画書の計画内容の記入欄で、実施状況の合計ではありません。)			
	項目	目標値	項目	目標値
	排出量	10880 t	全処理委託量	10880 t
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	770 t
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	10500 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※事務処理欄				



(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和元年 6月 27日

和歌山県知事 殿

提出者 株式会社浅川組  
 住 所 和歌山市小松原通三丁目69番地  
 氏 名 取締役社長 栗生泰廣  
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)  
 電話番号 073-423-7161

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社浅川組
事業場の所在地	和歌山市小松原通三丁目69番地
計画期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	6 総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高 27,835,000千円
③従業員数	266名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<div style="text-align: center;"> <p>(委託)</p> <p> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">建設工事</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">分別</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">汚泥</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">保管</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">再生処理</span>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">木くず</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">保管</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">再生処理</span>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">がれき類</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">保管</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">再生処理</span>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">建設混合廃棄物</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">保管</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">最終処分</span> </p> </div>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

巻末 図-1 産業廃棄物処理管理体系図添付

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成30年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	別紙	別紙	別紙	別紙
	排出量	別紙	別紙	別紙	別紙
	産業廃棄物の種類	別紙	別紙	別紙	別紙
	排出量	別紙	別紙	別紙	別紙
	(これまでに実施した取組) ISO14001環境管理に於いて「廃棄物のリサイクルによる建設廃棄物の減量化」を目標として取り組み、社内文書「廃棄物等処理管理要領」「廃棄物分別収集手順書」に基づき産業廃棄物の排出の抑制に取り組む。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	別紙	別紙	別紙	別紙
	排出量	別紙	別紙	別紙	別紙
	産業廃棄物の種類	別紙	別紙	別紙	別紙
	排出量	別紙	別紙	別紙	別紙
	(今後実施する予定の取組) これまでに実施した取組を継続して実施する。				

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ISO14001環境管理に於いて「廃棄物のリサイクルによる建設廃棄物の減量化」を目標として取り組み、社内文書「廃棄物分別収集手順書」に基づき産業廃棄物の分別に取り組む。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) これまでに実施した取組を継続して実施する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	—
	(これまでに実施した取組) 自ら行う産業廃棄物の再生利用の実施は無し。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	—
	(今後実施する予定の取組) 自ら行う産業廃棄物の再生利用の計画予定は無し。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	—
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	—
(これまでに実施した取組) 自ら行う産業廃棄物の中間処理の実施は無し。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	—
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	—
(今後実施する予定の取組) 自ら行う産業廃棄物の中間処理の計画予定は無し。			

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分の実施は無し。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分の計画予定は無し。		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（平成30年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	紙くず	木くず	金属くず	ガラスくず
	全処理委託量	別紙	別紙	別紙	別紙	別紙	別紙
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙	別紙	別紙	別紙	別紙	別紙
	再生処理業者への処理委託量	別紙	別紙	別紙	別紙	別紙	別紙
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙	別紙	別紙	別紙	別紙	別紙
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙	別紙	別紙	別紙	別紙	別紙
	(これまでに実施した取組) 処理業者と委託契約を締結するに当たっては、事前に処理業者の確認(処理能力・処理状況・維持管理状況・処理場周辺状況等)を行うとともに、委託後に必要に応じて定期的な確認を行う。 再生利用が可能な廃棄物については、積極的に再生利用を推進するため、委託先についての情報収集を行い、ルートの開拓を進めている。						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
①現状	【前年度（平成30年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	がれき類	がれき (Co)	がれき (As)	建設混合	石綿含有 産廃
	全処理委託量	別紙	別紙	別紙	別紙	別紙
	優良認定処理業者 への処理委託量	別紙	別紙	別紙	別紙	別紙
	再生処理業者への 処理委託量	別紙	別紙	別紙	別紙	別紙
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙	別紙	別紙	別紙	別紙
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	別紙	別紙	別紙	別紙	別紙
<p>(これまでに実施した取組)</p> <p>処理業者と委託契約を締結するに当たっては、事前に処理業者の確認(処理能力・処理状況・維持管理状況・処理場周辺状況等)を行うとともに、委託後に必要に応じて定期的な確認を行う。</p> <p>再生利用が可能な廃棄物については、積極的に再生利用を推進するため、委託先についての情報収集を行い、ルートの開拓を進めている。</p>						
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	木くず	がれき類	建設混合	
	全処理委託量	別紙	別紙	別紙	別紙	
	優良認定処理業者 への処理委託量	別紙	別紙	別紙	別紙	
	再生処理業者への 処理委託量	別紙	別紙	別紙	別紙	
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙	別紙	別紙	別紙	
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	別紙	別紙	別紙	別紙	
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>これまでに実施した取組を継続して実施する。</p> <p>更に適正な委託先の選定にあたっては、優良産業廃棄物処理業者に関する情報、公開される産業廃棄物処理施設の維持管理情報等を活用していく。</p> <p>また、再生利用が不可能な廃棄物については、積極的に熱利用を推進するため、委託先についての情報収集を行い、ルートの開拓を進めていく。</p>						
※事務処理欄						





備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

図-1 産業廃棄物処理管理体系図

